

令和7年2月5日

報道機関各位

自然保護課

五所川原市における野鳥の鳥インフルエンザウイルス遺伝子検査の結果について

弘前大学農学生命科学部が五所川原市で回収し、同大学が実施した簡易検査で陽性反応が確認された死亡野鳥（ハシブトガラス）について、国立環境研究所（茨城県つくば市）で遺伝子検査を実施しており、検査対象4羽のうち2月3日時点で検査が完了していなかった1羽から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5亜型）が検出されたのでお知らせします。

記

1 検査結果

回収日	回収場所	種名	回収羽数	簡易検査		遺伝子検査		備考
				結果	結果判明日	病原性	結果判明日	
1月28日	五所川原市	ハシブトガラス	3	陽性	1月29日	H5亜型 高病原性	2月3日	2/3公表済
"	"	"	1	"	"	H5亜型 高病原性	2月4日	今回公表

2 今後の対応（新たな対応なし）

環境省が指定した感染野鳥回収地点を中心とした半径10キロメートル圏内の「野鳥監視重点区域（五所川原市、中泊町、つがる市のそれぞれ一部）」内における湖沼や河川など10か所の監視は、同区域の指定が解除されるまで（令和7年2月25日（火）24時予定）の間、週1回の目安で継続します。

3 留意事項

現地での取材は、ウイルスの拡散や感染を防ぐため、厳に慎むようお願いします。

4 添付資料

県からのお願い（野鳥との接し方について）

5 その他

本事例については、環境省HPでも2月5日（水）15時に公表されます。

【環境省ホームページ】

https://www.env.go.jp/nature/dobutsu/bird_flu/

報道機関用提供資料（連絡先）		
担 当 課		環境エネルギー部 自然保護課自然環境グループ 総括主幹 辻 健一郎
電話 番号	内線	6505
	直通	017-734-9257
報 道 監		環境エネルギー部 次長 山舘 清章